夕刊 第二種郵便物認可 第四千三百五十六號 昭和十年六月二十三日 磐城新聞 〔日曜日〕 〔一〕

軍艦那珂便乘記

湊―小名濱

湯乃嶽兒

二

六時十分、巽口同音に私を撃破した功績は今にして遥は百五十二・四米の巨艦赫々たる戰歴を全艦に輝きを眼前に仰ぎ見て感奮の聲を洩らした。そして艦首にい士官が附言した

歸く菊の御紋章に、帝國海軍の力強さを胸一つぱい感じさせられて勇躍、艦上の人となつた

私達便乘者の爲めに特設された席は、士官居住の上甲板で、後檣の直ぐ下だつて駐足でも甲板に上り來た。私は今こそ帝國海軍の精鋭、二等巡洋艦那珂の艦艦旗に向つて整列した。十上に立つてゐることの歡喜秒前『脫帽』の號令が肅然を全身の血潮に躍らせて、先づ一望千里の大海原が洋々と開けて、飽迄清澄たる太平洋の潮風を胸一つぱい！ 靜かに靜かに旭日の軍に呼吸して、視野を左に轉艦旗がするゝと竿頭高くじて、湊の濱を中央に、大揭げられた

洗中磯の景が、一幅の繪を展げたように、湊の海門橋上げられて、出港のドラは が（殊に湊に入る那珂川の鳴り、折柄起る萬歲の聲に海門橋は水郷の誇りと稱せ出港感激の渦は逆卷き、見られる）白く浮き立つてゐる樣を見て今は遙かに『あ逆りに來た蒸汽船上で湊のそこが陸上か』といつた驚人達が兩手を振る姿がだん異の瞳で見つめるのだつた 小さくなつて、艦は十七時二十分より約三十分二節の速力で一路小名濱へ間にわたつて、水雷長を始向つて出航した

め、機關長の挨拶があり、注意事項、那珂の精能、艦歷等を詳しく話された。特に昭和七年一月二十八日より同三月二十二日迄で上海事變の爲めに第三戰隊旗艦として、當時〇〇方面に出動し、〇〇、〇〇の兩砲臺は皆嘘だよ、泥棒でもしな話はよしにして私が假りにけりや手に入る譯はねねじ其の腕時計を賣るとしたらどういふ風にしてどんな處へ持ち込んだらよいか、それだけでも一つ敎へてくれ ませんか』

『こちとらは、もうそんなことは知らねえよ。どこでも買つてくれるだらう。第一、その腕時計がどうしてあのお屋敷から出たつて事は分つたもんぢやねわからな』

又屠屋はそれ切り口をつぐんでしまつた

相手が警戒したことに氣がつくと皆川刑事はこれ以上誘ひをかける必要はないと思つた。相手が警戒しはじめたことでこの男が何者であるか分つたやうな氣がした

『まあ、お前さん、飮んでください。もうそんな話はよしにしませうや、何しろお前さんに色々敎へて貰つたんで、どんなに有難いか知れませんまあ飮んで下さい』

『もう酒はよしにしようじやねえか、おれはまた商賣に廻らなけりやいけないんだ』

『そうですか、じや今日はこれでお別れしませう。お住居とお名前を聞かしてくださいませんか。これから又いろ〳〵敎へて貰はなきやならないんで』

『こちとらの名前を聞いたつてどうもしようがねえだらう』

屠屋はいくらか頬を酒で赭らめて酒場の外へ出た。屠籠を擔いで歩き出さうとした時に

『おれは警視廳の刑事だ。調べることがあるから一緒に來て見學、耶馬溪から別府、汽船にて大阪へ出で東京、廿八日歸着、四月十六日に發病、廿七日隔離せられ昨十一日退舍致しました、非常に輕く入舍後直ちに平熱になり十六日續いて歸されました、衰弱は多少して居ますが非常に元氣ですから御安心下さい

昭和四、五、一二

赴

0

三月九日九州出張の爲出豐へ來て見學、耶馬溪から別府、汽船にて大阪へ出で東京、廿八日歸着、四月十六日に發病、廿七日隔離せられ昨十一日退舍致しました、非常に輕く入舍後直ちに平熱になり十六日續いて歸されました、衰弱は多少して居ますが非常に元氣ですから御安心下さい

昭和四、五、一二

赴

0

例の問題を抱へ東京、福島、平と廻り居る爲遂御返發、東京、名古屋、大阪に事も致さず欠禮申譯無之候寄り十三日正午より電氣協其後御無沙汰しの由何會の會員と委員會、筑豐のよりと喜び申し居り候、八代表炭鑛三井田川、豐國炭日頃東京より歸平の心算を見、博多にて聞きたる會議、三池の見學をして十七日坊やの生れた日に再び筑

村附近にて駄句を）

昭和四、四、五

福島にて

順平

0

アルバムから

赤井嶽男

八

0

―近詠數題御示し被成下面白く拜見致し候

人の詠歎の聲を聞く丈けでも伸々致し候、自然と人生との間の最高の巧みである藝術の匂ひを嗅ぐ丈けでも我等の生活に生彩を放つ所以に候、併し小生の近唱はサッパリ歌心にもなれず索漠たるものに候

昭和四、七、一七

植田にて

古川 傳一

潮聲硯靜抄帳

○課題吟

春の潮 渡邊武門選

春の潮酌んで傳馬船洗ひけり 茂堂

春潮の上にひかれる防波堤

小案提出（昭和七）△衆議院議員選擧法中改正法律公布（同九）

6月24日 △赤松滿祐將軍義敎を刺す（嘉吉元）△加藤清正誕生（永祿五）

つその日〳〵

○

こんどは、梅雨の霽れ間が戀しくなつた。人間でいふものは、どうしても氣儘になる――

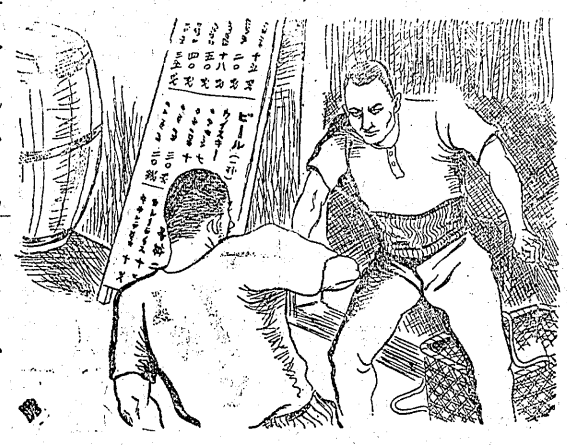
小說 誰が殺したか

今野賢三作

(51) 龍造寺胤喬

第二の殺人 (二十二)

『どうしてその腕時計をお前さんは手に入れたんだねえ、あのにかしいじやないか。お屋敷の腕時計がた前さんお



『まあ、そんな理屈つぽいことは皆川刑事は頭から銳い聲を浴びせかけた

『どうしてつて、嘘だと思ふから嘘だといふまでのことよ』

屠屋は凄い目を光らして警戒するやうに、ちよつとの間皆川刑事の顏を見つめた。そして盃を手にして默りこんでしまつた

皆川刑事は相手の言葉とその人相によつてこの男を調べて見たならば何ものか得ることのあるのを確信した

今度は話題を變へて

諸判定應需

東京市本鄕區湯島四丁目五番地

湯島鳥鍋總本部 神饌館

▲一白 投機的の事業は控へ堅實なる事は吉となる▲二黑 一步一步と前進して何事も手堅くすれば吉▲三碧 考ふれば考ふる程こんぐらして不利に陷る▲四綠 小路にまよはず大道を進めば目的地に達す▲五黃 氣緩みは不利を招く緊張して事に當り安全▲六白 新事の計畫は不利なり從來の樂に從ふべし▲七赤 事業半ばにさせつた生じ易し周到の用意肝要▲八白無理の策謀を慎みて益なし才力に應ぜよ▲九紫 長上の引立援助ありて進展發達すべき吉日

舊	月曜	新
五	日	六
庚午	月	辛未
先負	二	佛滅
二十三	十四	二十四
建	除	張宿
日	日	日

運動―服裝は

型と生地の良い……大塚へ

安價と仕立の良い運動具屋の品を

球技用 ユニホーム マーク御注文に應ず。

○野 ○庭 ○競

△アンダーシャツ

△トレーニングシャツ パンツ 最新型・豐富

△ノータイシャツ 十五錢より

△ハンケチ 幣店自慢の……品澤山有ります。

何卒御用命の程を……

田町の…… 大塚 電話七七番

生花敎授

池ノ坊

生花を魅切丁寧に御敎授いたします、お遊びがてら御出で下さい。

平町四丁目和泉屋旅館

須藤まつの

「先んぜられず人を制す」

水菓子界の寵兒

フルーツケーキ製造器

資金僅三十圓で一ケ月二百圓以上を生み出す金儲けの源泉フルーツケーキ製造器の賣行を見よ！一日も早きが德 (カタログ進呈)

夏の飮ものは フルーツから

高級なる原料各種の果實を使用し美味と滋養に富む

小兒さんが召上つて各削氷と違ひ衛生的な飮物 一個一錢で是非一度は御試飮を願ひます。

フルーツケーキ製造器

東京惠比壽屋商會 磐城平町二丁目特約店 日進堂本店 電話六三五番

電話新設第六一三番

電話あり次第品物持參御覽に入れます。

平町二丁目

信用堂洋服店

尼子自動車遊覽部

電六四〇番

遊覽團体募集

(日歸ノ部)

一、柳居津虛空藏尊 (猪苗代湖、東山白虎隊廻リ)

出發―六月二十八日午前三時

會費―往復自動車賃一圓也

一、日光 (笠間稻荷樣廻、日光六時休憩)

出發―七月二日(午前一時)

會費―往復自動車賃二圓五十錢

(一泊ノ部)

一、古峯原樣參詣 (日光參拜一泊東京市內名所遊覽)

出發―六月廿五日(午前四時)

締切―六月二十四日

會費―六圓也(但し晝食二回宿泊料を含む)

一、三原山、東京市內名所遊覽

出發―七月十日(午前五時)

會費―拾貳圓(但し宿泊料機船料及一切含む)

各車共定員二十二名、定員未滿ノ節ハ勝手乍ラ延期致ス事モアリマス。

其他希望ノ各種團体ニモ應ジマス。

外科 內臟外科 レントゲン線

病室完備

醫學博士 諸橋鐵彌

新川町二七(電四六四)

流行ノ下駄ト草履ハ！

ドコヨリ安イ

南町 三井ハキモノ店

(小僧さん入用) 電話一八一番

夜間診療 專門 胃腸病 花柳病 性病 皮膚科

內科 胃腸病科

(見習看護婦募集)

松村醫院

胃腸病科 性病科

(平町南町電一〇七番)

磐城共濟病院

(電話六四一番)

內科 (醫學博士 石山謙郎 電話六四一番)

小兒科 (部長醫學博士 佐藤尙輔)

產婦人科 (副院長醫學博士 五十嵐雄二 電話三七〇番)

外科 (部長醫學士 大町久藏)

耳鼻咽喉科 (部長醫學士 前澤正 電話二七二番)

皮膚泌尿器科 (部長醫學士 石山謙郎)

花柳病科 (醫學博士 石山彪)

X線療科 (技手)

物藥局 (藥局長藥劑師 吉本孝平)

事務長 鈴木寶雄

◎每日午前八時ヨリ午後十時迄診療

◎病室完備 入院隨意

中等學校國防服賣出

夏服新荷着……

洋服は高島屋

注文並に既製品

高島屋洋服店

平町二丁目電話三八六番

爭奪渦中の平小鐵道

湯本經由の運動開始

他迂目的遂行を期して　今曉代表一行上京

地方多年の懸案たる平小鐵道經由地如何は沿線各町村將來の消長に多大の關係を有するので、過般某々方面の測量を開始さるゝや片濱、鹿島、湯本廻りの三線中果して何れに決定さるゝかに就き各方面から大なる關心を以て迎へられつゝあるが、工費及區間等の點に於て比較的好條件の下に置かれて在る湯本町では此際愼然その成行きに委せ他の爲に再び獲られぬ恩惠を蒙はるるが如き事があつては、と云ふ處から昨二十一日急施町區會を招集協議の結果

（町會）若松孝平、比佐貿司（區會）鯨岡久一郎　木村重五郎

の四代表が今二十二日午前一時九分同地發の準急で上京、縣參事會用務を了やして福島より直行する石川町長と落ち合ひ、平小鐵道の湯本經由方に就き當路との陳情その他猛運動に入つた

買收交涉は今秋

依然兩三名の不承諾に

手を燒く第三校擴張問題

平町の第三小學校運動場擴張本店の懇親會に臨む筈で張敷地買收は曩に今年度豫算に計上、關係地主に交涉を進めてゐたが依然兩三名の不承諾者があり目下田植季に際して手の出しやうもないので今秋の收穫後再び本格的買收交涉を進め明年度新學期迄に實現を期す事になつたと

學術講演

縣醫師會　臨田博士等來平

縣醫師會第十一回學術講演會は既報の如く來月二十八日午前八時から平第三小學校講堂に會員のす分間講〝發表後特別講演として東大臨田外科部長臨田庶重、同額田晉兩博士の講演があり午後二時から兩博士は新舞子、沼の內辯天、鹽屋岬等を見學、同五時から住吉亭を見學、同五時から住吉

（四倉）（白）高三、九〇

松井東北振興事務局長視察

來月六日平驛着泊

東北振興事務局長松井春生氏は東北一巡の途次左記日割で郡內炭礦並に港灣を視察する

△來月六日午後六時二分平着泊

△七日午前八時過ぎより綴磐城炭鑛視察、十時半頃中の作、江名漁港視察、十一時小名濱港視察、午後二時半泉驛發で歸京する

再た四圓を割る

漸落の氣勢を見せた

昨廿一日の繭況

郡內三繭市場昨二十一日の平町會　來る二十七日頃開き今年度特別稅賦課額決定を附議する

遠來の水商と對戰

磐中平商兩野球部

磐中並に平商兩野球部では廿二十三日水戸商業を迎へ磐城七圓もする同店の硝子戶

恐怖の街

無心を斷られて激怒

店の硝子を叩き割る

昨日湯本で潛入のダニ二名檢擧

昨二十一日午後を打ち毀しその足で附近の料理業立花亭へ暴れ込み同樣强要し始めたので女將が逸早く駐在所に届け出で時恰もダニ狩りの折からとて直に檢擧された、右は東京市大森區大森一丁目無職出中勘次郎（五五）及遠藤某（四九）で同樣手段で全國を荒し廻つてゐたものらしく餘罪追究中

平青年團資金造成

『流行歌と映畫の夕』

廿九日聚樂館で開催

平町青年團では昨二十一日夜幹事會を開き協議の結果光榮時計店頭へ樣强要し始めたので女將が逸早く駐在所に届け出で時恰もダニ狩りの折からとて直に檢擧された、右は東京市大森區大森一丁目無職出中勘次郎（五五）及遠藤某（四九）で同樣手段で全國を荒し廻つてゐたものらしく餘罪追究中

左記番組を、又映畫は東京日日のトーキー映畫數本を豫定で會員券は三上映する豫定で會員券は三十五錢、近く前賣開始する

利根の船唄、急げ幌馬車、あなたのわたし、忘られぬ花、十九の春、その他

鄉土の史的時事解說（二）

白水阿彌陀堂の第二回修理

本堂宇の特別保護建造物並に內壇安置五佛像國寶各指定に就て

（二）

勿來生

瓦斯で絕命

大日本坑の測量手

大日本坑の測量手菊地正夫（二六）外二名は昨二

遂々我慢出來ず

鐘太鼓で雨乞ひ

田植ゑに惱む草野村

『降るには降るが量は保證ぬやうで平町でも既報の如く鐵北方面の水田を潤すべく高月臺北方に備へ付けたデーゼルイング揚水ポンプを去る二十日以來運轉して水不足の緩和を圖つてゐる

不景氣で勤めに厭氣

若い藝者から母親へSOS

其筋の說諭で落ち着く

藝者稼業はつらいデス——主の待遇でも惡いのでは無いかと平署に調査方を願ひ出たので同署で調べた處同人は每月の玉代も平均三十圓（町役場狼狽の卷）

投槍

投書歡迎

親の敎育程度調査

◇町の中等　學校へ伴と年制度の高等小學を卒業娘なり伴なりの心覺はどんなものゝ歸國旅費もないので

◇母の分に對　して敢に裁縫女學校卒業とする達の悉くが大學を出てゐる程進んでは居ない

（松ケ岡下腰辨生）

ら擧行する、總工費六千八百圓（內奉安殿費八百五十圓）で來る八月上旬に竣功

玉川村小

箱車の珍客御入來

三名のレプラ團に

（町役場狼狽の卷）

昨二十一日午後町役場に箱車を二頭の犬にひかせたライ患者の一行三名が來た

水戸市生れ佐藤留吉（四〇）

青森市高橋ハル（三）

慶尙北道生れ金石（四八）

で各地を放浪中同病相憐んで合流したものらしく町役場では直ちに藥料を惠み立

庭石も盜む

蘭泥棒の除罪發覺

去月二十六日夜平町八幡小路刑務支所官舍吉岡萱太郎氏方から逸品の蘭を窃取した好間村宇田中二二無職荻谷庄一郎（三八）は取調べの結果、五月中から今月初旬に掛け好間村隅田川附近から神谷彙次郎氏所有の庭石六十一個、積石材三十二個（六十餘圓）を窃取した事も判明、今二十二日午前十時より平區で小林刑事部長檢擧白水刑事關與公判開廷、求刑一年に對し懲役十ケ月を卽決言渡された

未だ足らぬ

各方面で應急對策

昨夜の雨は正に旱天の慈雨ひ店主が拒絕するや一人が矢庭に所持のステッキで一

解說の名畫は何？

懸賞……課題

(1) 熊岡天堂解說の映畫は何？

(2) 何月何日（木曜日に限る）より公開するか

投票方法

（用紙）官製ハガキ、制限なし。（宛）世界館懸賞係。（差出人）住所氏名明記の事。（〆切）六月三十日午後九時半抽籤於世界館。（當籤發表）七月一日、世界館前

右之通り、當選者多數の場合は嚴正なる抽籤の結果左の通り賞を呈す。

世界館特等券	十枚	一名
同　特等券	五枚	二名
同　普通券	五枚	五名
同　普通券	三枚	十名
同　同	一枚	三十二名
右合計		五十名樣

熊岡天堂氏

キリンビール本社直送
樽詰の生ビール
生ジョッキ四合入金四十五錢
キリン瓶詰三合五勺入金五十錢
平會館
電624